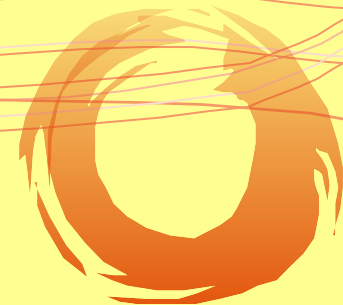


2023年度受入れ 経済連携協定に基づく外国人看護師・介護福祉士候補者受入れ説明会

E P A 介護福祉士候補生の 受け入れ



社会福祉法人泰仁会
特別養護老人ホーム桜の郷元気

茨城県、茨城町のご紹介



施設概要

社会福祉法人 泰仁会

理事長 菊地 丈夫

〒315-0165 茨城県石岡市小倉442-1

TEL 0299-43-0811

社会福祉法人 泰仁会

特別養護老人ホーム 桜の郷元気

施設長 永山 直人

〒311-3117 茨城県東茨城郡茨城町桜の郷



このマークは、泰仁会が人の手に優しく包み込まれて若葉のように伸びる(末永く繁栄する)そして、常にご利用者を暖かく包み込み、いつまでも安心できるサービスの提供をしてくという意味が込められています。

法人の事業 案内

平成7年	10月1日	特別養護老人ホームやさと（定員50名） ショートステイやさと（定員12名） 軽費老人ホームケアハウスやさと（定員15名） デイサービスセンターやさと（定員30名） 石岡市委託在宅介護支援センターやさと
平成12年	4月1日	居宅支援事業所ケアプランセンターやさと
平成14年	10月20日	グループホームさわらび（定員18名）
平成15年	11月1日	事業所内託児所こぎつねの郷（定員17名）
平成16年	11月1日	特別養護老人ホーム桜の郷元気（定員70名） ショートステイ桜の郷元気（定員10名） デイサービス桜の郷元気（定員35名） 居宅支援事業所ケアプランセンター
平成19年	5月1日	小規模多機能型居宅介護支援事業所国府あおい (定員25名)
令和元年	10月1日	桜の郷元気 ひたちの長岡ショートステイ（定員20名） ひたちの長岡デイサービス（定員30名）

法人の理念

- 1、 泰仁会は福祉サービスを通して地域社会に貢献いたします。
- 2、 泰仁会は福祉サービスを通してご利用者のためご満足いくサービスの提供をいたします。
- 3、 泰仁会は地域の社会福祉向上のため永続発展いたします。
- 4、 泰仁会の職員はご利用者のニーズを大切にしご満足を得るために知識・技術・人間性を研鑽してゆきます。
- 5、 泰仁会は職員の生活を保障し健全な職場作りをします。



ワークライフマネジメントの取り組み

- ・ 託児所の設置
- ・ 子育て支援休暇
- ・ 特別有給休暇
- ・ 産前産後休暇
- ・ 育児休業（男性職員も含む）
- ・ 育児短時間勤務
- ・ 子の看護休暇
- ・ 介護休業
- ・ 介護休暇
- ・ 年次有給休暇取得促進

くるみんマークの取得



休暇だけではなく職場全体の雰囲気や仲間意識、認め合う事を意識的に行い働き方改革やワークライフマネジメントの取り組みを実施。

E P A 候補者の受け入れた概要

- ・日本人の労働力や人員の減少することによるマンパワー不足の解消。
- ・外国人育成を行ない、日本で働く外国人と今後活躍できる人財の育成。
- ・職員の育成力のスキルアップ。
- ・受け入れ施設間との情報共有と多くの施設との交流。

学習支援と役割



日本語学習

- ・ 施設長
- ・ 相談員
- ・ E P A 担当者
- ・ ユニット職員
- ・ 日本語学校（外部研修も含む）
- ・ 事業団による添削テスト



試験対策学習

- ・ 施設長
- ・ 相談員
- ・ E P A 担当者
- ・ 日本語学校
- ・ 事業団による添削テスト模擬試験



介護技術

- ・ 相談員
- ・ E P A 担当者
- ・ 介護主任
- ・ 介護職員
- ・ 看護師
- ・ 管理栄養士
- ・ 介護技術講習会

受け入れる準備として

- 事業団の担当者を招いてEPAとは何か？受け入れについてと対応方法について研修会の実施。
- 受け入れ初年度から対応している当法人の研修室長（担当者）を招いて生活や学習、どのように受け入れていくかなどのフォローや関わり方などについて研修会の開催とアドバイス。

1年目の取り組み

日本語学習

- ・ 就業規則の確認
- ・ JLPT試験に向けての学習

日本語の基礎学習

日本語学校参加

試験対策学習

- ・ 介護と専門用語用語の学習

文法、読解力

介護技術

- ・ 高齢者の特性

基本的な介護技術

プライベート 生活の充実

- ・ 自身の時間を作る
- ・ 家庭訪問しメンタルバランスの確認
- ・ 買い物、交通機関の利用の仕方

2年目の取り組み

日本語学習

- 教材を使用した日本語の基礎学習
- 国際厚生事業団からの添削テスト、解答の振り返り

試験対策学習

- 専門用語の習得
- 日本語学校での学習
- 国際厚生事業団が開催する研修会への参加

介護技術

- 実践を通しての介護技術 福祉用具の活用
- 入居者体験

メンタルヘルスケア

- 母国への帰国とリフレッシュ

3年目の取り組み

日本語学習

- 国際厚生事業団からの添削テスト、解答の振り返り
- JLPTの受験

試験対策学習

- 日本語学校での試験対策指導
- 模擬問題集の実施
- 国際厚生事業団からの添削テストや集合研修への参加

介護技術

- 介護技術講習参加による介護技術試験の免除

4年目の取り組み

日本語学習

- 日本語ボランティア団体への参加

試験対策学習

- 日本語学校での模擬問題集、テストの実施と指導
- 課題や宿題の実施と提出
- 国際厚生事業団からの模擬問題や集合研修への参加

介護技術

- 介護現場での基礎技術の再確認

受け入れ状況

令和4年3月現在

平成28年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
フィリピン	フィリピン	フィリピン	フィリピン	
2名	3名	1名	1名	
		インドネシア	インドネシア	インドネシア
		2名	1名	2名

現在の状況

令和4年3月現在

平成28年	フィリピン人 2名	1名合格 現在も就労中	1名不合格 試験翌年 再チャレンジし 合格 現在は退職	
平成30年	フィリピン人 3名	2名 退職	1名 1月の試験を受験	結果待ち
令和元年	フィリピン人 1名 インドネシア人 2名	1名 フィリピン人退職		
令和2年	フィリピン人 1名 インドネシア人 1名			
令和3年	インドネシア人 2名			

働いてる様子①



働いてる様子②



生活の様子



受け入れから現在を振り返って

- 日本語学習と学習時間の確保が不十分だった
- 候補者たちの思いを把握、理解が不十分だった
- 日本人職員との関わりが十分であった
- 感染症の影響で帰国が難しい
- 意欲やモチベーション維持への取り組み
- 体調の管理
(日常生活の把握など)



受け入れた効果・よかったこと

①入居者、ご家族、職員の刺激となった

→候補者の国の事、様々な文化に触れたり日本の文化に触れて頂く事で知る楽しみ、興味が増えた。

②日本人職員の意欲、モチベーション向上

→がんばっている姿に日本人職員も仕事に対してチャレンジする姿や資格取得に積極的になった

③育成、フォロー、仲間意識がさらに高まった

→候補者と関わる事で育成における話し方、伝え方に変化が見られた。

自然に気遣や声掛けが出来るようになったり候補者の成長やできる事が増えた事を喜んだり共感できるようになった。

④地域の方々に施設を知ってもらえた。

→候補者が住んでいる地区の行事や奉仕作業に参加することで地域との関わりがより多くなった。

⑤候補者にも日本や働いてる場所の良さを知って頂けた。

→定着し長く働くことができ職場にも良い影響があった。



まとめ

～受け入れるにあたり～

安心して長く働いて頂けるかということを考えながら 受け入れしていく事が重要と改めて考えることができた。

候補者、労働者（力）という考えではなく働く仲間として施設全体で関わる。

そして介護福祉士国家試験に合格するために可能な限り配慮する事が大切だと思う。

ご清聴ありがとうございました

